



鉄筋の継手に関する品質要求事項

JIS Z 3450 : 2015

(JRJI/JSA)

平成 27 年 12 月 25 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	栗飯原 周二	東京大学
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会（電気化学工業株式会社）
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	榎 本 正 敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会（長岡技術科学大学）
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会（三菱自動車工業株式会社）
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	山 崎 裕 一	一般社団法人日本建設業連合会（株式会社銭高組）
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣，国土交通大臣 制定：平成 27.12.25

官 報 公 示：平成 27.12.25

原 案 作 成 者：公益社団法人日本鉄筋継手協会

（〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-3-14 安井平河町ビル TEL 03-3230-0981）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会（委員長 長井 寿）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，経済産業省産業技術環境局 国際標準課〔〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511（代表）〕又は国土交通省住宅局 住宅生産課〔〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111（代表）〕にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 品質要求事項の適切な水準の選択	2
附属書 A（参考）包括的品質要求事項及び標準的品質要求事項の選択基準	4
附属書 B（規定）包括的品質要求事項	5
附属書 C（規定）標準的品質要求事項	10
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本鉄筋継手協会（JRJI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣及び国土交通大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣、国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉄筋の継手に関する品質要求事項

Quality requirements for joints of steel bars for concrete reinforcement

1 適用範囲

この規格は、発注者が鉄筋継手工事の発注の際、指定する仕様書に記載する品質要求事項の水準の選択及びこれらの品質要求事項について規定する。この規格は、ガス圧接継手、溶接継手及び機械式継手に適用できる。

注記 この規格は、継手の種類にかかわらず、主筋（主鉄筋）の継手の品質を確保することを目的として、包括的水準及び標準的水準の品質管理上の要求事項を定めるものであり、項目の細目は、構造、施工の特徴などを考慮して発注者又はその代理者の判断で定めるものとする。また、技術的に合理的な根拠に基づく工学的判断で、項目の全体又は一部の適用を除外すること、若しくは、他の種類の継手に対してこの規格を採用することができる。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 3062 鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準

JIS Z 3120 鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の試験方法及び判定基準

JIS Z 3881 鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準

JIS Z 3882 鉄筋の突合せ溶接技術検定における試験方法及び判定基準

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

ガス圧接継手

酸素・ガス炎を用いて加熱しながら機械的圧力を加えることによって接合された鉄筋の継手。

3.2

溶接継手

ガスシールドアーク半自動溶接によって接合された鉄筋の継手。

3.3

機械式継手

機械的な応力伝達を担う部品などを介して接合された鉄筋の継手。